みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

民族分類

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-03-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 樫永, 真佐夫 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00008977

第 8 章　民族分類

第 1 節　民族概説書

フランス人宣教師や探検隊による現ベトナム領各地への踏査は 19 世紀半ばに遡る。彼らの報告書から、ベトナムの領土的基礎となったトンキン、アンナン、コーチシナ各域内に、キン（安南人）とは異なる言語、文化、社会的特質をもつ集団が多数居住していることがすでに知られていたことがわかる［Cupet 1900］［D'Orléans 1894］［Pavie 1911］。それから仏領期が終了する 20 世紀半ばまでの間に、現在のベトナム東北部、西北部、中南部高原地域など、内陸部のいわゆる少数民族地域がフランスによる行政支配を受けるなかで、さまざまな報告書、年鑑、いわゆる行政官民族誌、地域ごとの民族概説が編纂された。これらの書物では、言語、居住地域と移住経路、生業、政治組織、物質文化、風俗習慣などを基準にして住民がたくさんの民族に分類され、彼らの文化が記述された。フランス人による民族概説の主なものとして、次のようなのがある。まず、北部に関しては、［Abadie 1924］［Diguet 1908］［Lunet de Lajonquiere 1906］などがあり、中南部に関しては、［Maitre 1912］その他がある。

8 月革命（1945）のあと、1946 年にホー・チ・ミンがベトナム民主共和国の独立を宣言したが、これは民族概説書の歴史的概観においても一つの転機であった。この時期を境に、ベトナム人によるベトナム語民族概説書が編纂されるようになったのである。もちろん第一次インドシナ戦争（1946-1954）、ベトナム戦争（1960-1975）などによる戦乱期ゆえに、ベトナム人による人類学的な調査研究がすぐに実現したわけではなく、最初は仏領期のフランス人による民族誌データに多く依っていた［Bùi Đình, biên soạn 1950］。しかし、その後次第に独自の調査データが加わり、［Bùi Văn Tịnh; Cầm Trọng; Nguyễn Hữu Ưng 1975］［Lã Văn Lô; Đặng Nghiêm Vạn 1968］［Ủy ban dân tộc học, biên soạn 1959］のような民族概説書の執筆・出版される。とくに前 2 者の民族概説書には、ベトナム人研究者による独自の調査成果がはっきり反映されている。いっぽう、1971 年から 1975 年の間には、ベトナム人人類学者による英仏文雑誌『ベトナム研究』においても民族誌特集が 3 回実現した（*Vietnamese studies* 32, 36, 41）。おもに北部少数民族の文化に関するこの特集での概説は、現地調査がとりわけ困難であった戦期における貴重な民族誌として、1990 年代前半頃までベトナム国外の人類学者に重宝された。

このインドシナ戦争、ベトナム戦争の時期は、もちろんアメリカの戦略的な意図とも絡み、アメリカでは地域研究が隆盛をきわめていた。そこで、アメリカでも、仏領期の人類学的研究に即した英語による民族概説書が、出版された。たとえば［LeBar; Hickey; Musgrave, eds. 1964］［Kunstadter, ed. 1967］［Schrock *et al.* 1972］などである。

一方、ベトナム民主共和国（北ベトナム）と南北ベトナム統一によって成立したベトナム社会主義共和国（1976-）では、1959 年以来、国民を一定の基準に基づいて民族に分類するために民族概念が定義され、その定義に基づいて民族を分類し確定する作業が行われた。民族定義の指標は、1972 年頃までに、1. 言語的特徴、2. 生活・文化的特徴、3. 民族アイデンティティ、として

確立し、公式の民族数も 1979 年までに現在の 54 に確定した。その後、ハノイにある民族学院出身の研究者が中心となって出版した民族概説書［Dang Nghiem Van; Chu Thai Son; Luu Hung, eds. 1993］［Nguyễn Văn Huy, chủ biên 1997］では、その公式の民族分類に基づいて民族ごとの文化が紹介されている。前者は英語版とフランス語版も出版されているし、後者は英語版、フランス語版、ベトナム語版も出版されている。

第 2 節　民族政策と民族分類の関係に関する論文

上記各民族概説書では、原則として言語、歴史、文化などの特徴から民族が分類されているが、その分類のあり方は書物ごと、あるいは執筆時期ごとに異なっている。別の見方をすれば、これまで現ベトナム領の住民が「民族」という範疇を用いてどのように分類されてきたかを、各民族概説書を通して、歴史的に追うことができる。また住民を分類する際に、これまでどのようなフランス語、ベトナム語、英語による術語が用いられてきたのか、それらと今日的な「民族（dân tộc）」概念との異同についても考察することができる。

ベトナムにおける「民族」概念の近代以降の歴史的変容、および近代以前のキン族による周辺の他者認識に関する論文として［岡田 1998］がある。ベトナム民主共和国とベトナム社会主義共和国では、1950 年代後半以降、中国の民族政策にならい、スターリンによる民族定義の再解釈の議論を経て民族定義の指標が確立され、公式の民族分類が実施された。この民族定義の確立の過程、および具体的な民族分作業の過程については、［Đặng Nghiêm Vạn 1998］［Mạc Đường 1997］に詳しい。また、日本語では［古田 1991］［吉沢 1982］でも詳述されている。

とくに［古田 1991］はこの民族範疇による住民分類の政治性に注目し、ベトナム人共産主義者が民族概念をどのように取りこみ、民族確定工作と民族政策を実施してきたかを詳細に検討している。この古田による研究の後、ベトナムにおける公式の民族確定工作以来、いっそう実体的な存在として扱われがちな民族範疇が、依然として動態的でありつづけていることを示した研究［伊藤 2000］も生まれている。

第 3 節　ベトナムにおける民族の実体性の検討

各民族概説書では、しばしば民族間の政治的経済的交流関係について記述されている。にもかかわらず仏領期以来現在に至るまで、フランス人やベトナム人による研究でベトナム諸民族の文化は、しばしば本質主義的に記述されてきた。民族ごとに固有の文化が内在するという本質主義的なベトナムの民族理解を問い直す研究は、むしろ日本に多い。とりわけ［古田 1991］は、20 世紀政治史におけるベトナムの諸民族が動態的に形成されてきた点、政策を通して民族が実体化されてきた過程を詳細に描いた。また近年では、［樫永 2004］が住民各人を登録する行政制度や国勢調査などの分析から、どのように政治的に民族が実体化されているのかを論じ、［伊藤 2003］が、植民地国家から国民国家形成に至る過程で、タイー、ヌンは実体的な民族として馴化されていく過程を例証するなど、民族の実体化の過程を歴史的かつ実証的に考察する研究は、近年、進展をみせている。ベトナムの人類学研究者のあいだでも、最近は民族定義を再考する議論は流行であり、ベトナムの民族の動態的側面に関する現地調査にもとづく個別具体的な研究への期待は高いと思われる。（樫永真佐夫）

参考文献

〈和文〉

* 伊藤正子 . 2000.「国家による公定民族分類：ベトナムの民族政策の意外な落とし穴」『ベトナムの社会と文化』2: 268-279.
* 伊藤正子 . 2003.『エスニシティ〈創生〉と国民国家ベトナム：中越国境地域タイー族・ヌン族の近代』東京：三元社 .
* 岡田建志 . 1998.「20 世紀初頭のベトナムにおける〈民族〉概念」『東洋文化』78: 184-197.

樫永真佐夫 . 2004.「ベトナム：小中華の国家統合」『国勢調査の文化人類学：人種・民族分類の比較研究』青柳真智子（編著）159-176 頁所収 . 東京：古今書院 .

* 古田元夫 . 1991.『ベトナム人共産主義者の民族政策史：革命の中のエスニシティ』東京：大月書店 .
* 吉沢南 . 1982.『ベトナム：現代史のなかの諸民族』東京：朝日出版社

〈欧文・越文〉

*Abadie, Maurice. 1924. *Les races du Haut-Tonkin de Phong-Tho à Lang-Son*. Paris: Société d'éditions géographiques, maritimes et colonials.

*Bùi Đình, biên soạn. 1950. *Tìm hiểu đồng-bào miền núi Việt Nam*. Hà Nội: Nxb. Tiếng Việt.

*Bùi Văn Tịnh; Cầm Trọng; Nguyễn Hữu Ưng. 1975. *Các tộc người ở Tây Bắc Việt Nam*. Hà Nội : Ban dân tộc Tây Bắc.

Cupet, Capitaine. 1900. *Voyages au Laos et chez les sauvages du sud-est de l'Indo-Chine*. (Mission Pavie Indo-chine, 1879-1895. Géographie et voyages 3) Paris: Ernest Leroux.

Đặng Nghiêm Vạn. 1998. *Ethnological and religious problems in Vietnam*. Hanoi: Social Sciences Publishing House.

*Dang Nghiem Van; Chu Thai Son; Luu Hung, eds. 1993. *Ethnic minorities in Vietnam*. Hanoi: The Gioi Publishers.

*Diguet, E. 1908. *Les Montagnards du Tonkin*. Paris: A. Challamel.

Kunstadter, Peter, ed. 1967. *Southeast Asian tribes, minorities and nations*. Princeton: Princeton University Press.

*Lã Văn Lô; Đặng Nghiêm Vạn. 1968. *Sơ lược giới thiệu các nhóm dân tộc Tày, Nùng, Thái ở Việt Nam*. Hà Nội: Nxb. Khoa hộc xã hội.

*LeBar, Frank M.; Hickey, Gerald C.; Musgrave, John K., eds. 1964. *Ethnic groups of mainland Southeast Asia*. New Haven: Human Relations Area Files Press.

*Lunet de Lajonquière, Etienne. 1906. *Ethnographie du Tonkin septentrional*. Paris: Leroux.

*Mạc Đường. 1997. *Dân tộc học và vấn đề xác định thành phần dân tộc : lý thuyết, nghiên cứu, tư liệu*. Hà Nội: Nxb. Khoa học xã hội.

*Maitre, Henri. 1912. *Les jungles moi : exploration et histoire des hinterlands moi du Cambodge, de la Cochinchine, de l'Annam et du bas Laos*. (Mission Henri Maitre (1909-1911) Indochine sud-centrale) Paris: Emile Larose.

*Nguyễn Văn Huy, chủ biên. 1997. *Bức tranh văn hoá các dân tộc Việt Nam*. Hà Nội: Nxb. Giáo dục.

D'Orléans, Henri-Ph. 1894. *Autour du Tokin*. Paris: Calmann Lévy.

Pavie, Auguste. 1911. *Mission Pavie : Indo-chine 1879-1895. Géographie et voyages VI. Passage du Mé-khong au Tonkin (1887 et 1888)*. Paris: Ernest Leroux.

Schrock, Joann L.; Gosier, Dennis D.; Marton, Diane S.; McKenzie, Virginia S.; Murfin, Gary D. 1972. *Minority groups in North Vietnam*. Washington, D.C.: U.S.Government Printing Office.

Ủy ban dân tộc học, biên soạn. 1959. *Các dân tộc thiểu số ở Việt Nam*. Hà Nội: Nxb. Văn hóa.

〈逐次刊行物〉

Vietnamese studies 32(1971), 36(1974), 41(1975). Ethnographical data. Vol. 1-3.